



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2024～2025 年度 高山中央 RC 会長テーマ

美しい調和 「beautiful harmony」



◆会長 堀口 裕之 ◆幹事 高橋 厚生 ◆会報委員長 中屋 出 ◆会報担当 渡辺 修治

創立 1991 年 5 月 20 日

<出席報告>

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

	会員数	出席会員	出席数	Make-up	出席率
本日 1389 回	52 名	52 名	43 名	——	82.69%
前々回 1387 回	53 名	53 名	42 名	2 名	83.02%

- 点 鐘 直前会長 岩本 正樹
- ロータリーソング 奉仕の理想
- 四つのテスト
- ビジター・ゲストの紹介

幹事 高橋 厚生

高山市高根支所次長 村田 重春 様
(元高山市役所森林環境政策部

森林政策課 課長)

- 会長の時間 会長 堀口 裕之
(代読 副会長 熊崎 元康)

本日は社会奉仕委員会の担当例会で高山市役所より高山市高根支所次長（元森林・環境政策部森林政策課課長）村田 重春 様にお越しいただき高山市の森林整備計画について卓話をいただきます。大保木委員長ならびに村田様どうぞよろしくお願いいたします。



ロータリーの特別月間テーマ4月は「環境」です。ロータリーは、天然資源の保全と保護を強化し、環境の持続可能性を高め、人と環境との調和を促す活動を支援する。ロータリーにおいて環境の持続可能性とは、生物の最善の利益のために、生態学的完全性、地球の健康、将来の世代をサポートする方法で、地球の天然資源の責任あるケアと使用が行われるようにすることを意味しています。

さて、地球温暖化対策にとって森林資源における木の役割はとても大切です。ご存じの通り木は二酸化炭素を吸って酸素を吐き出します。これは光合成によって根から吸い上げた水と空気中の二酸化炭素を使い、太陽の光のエネルギーを利用してでんぷんや糖をつくっているからです。水は酸素と水素からできていますが光合成においては水素と二酸化炭素が使われるのであまった酸素が捨てられているというわけです。

では地球温暖化で問題となっている二酸化炭素を木はどれくらい吸っているのでしょうか、葉の面積1m2当たり一年間で3.5kgの二酸化炭素を吸い込みことがわかっています。葉の総面積は樹種によって変わってきますがマツやケヤキで幹の太さか75cmの場合、葉の総面積は300m2ほどになると言われておりますので $300 \times 3.5 = 1050$ kgの二酸化炭素が吸い込まれていることになります。ひとりの人が、呼吸ではき出す二酸化炭素は、1年間に約320～360kgと言われています。直径75cmの樹木は人が1年間にはき出す二酸化炭素の量のおよそ3人分を吸っているということになります。自動車だと1年間にはき出す二酸化炭素の量は約2300kgと言われているので1台あたり2本の木が必要となるわけです。今回は光合成に基づく葉の総面積より試算してみましたが、蓄積する炭素の量から二酸化炭素の吸収量を試算するともっと少ないようです。

皆様、本日の例会にご参加いただき環境保全の大切さを共有いたしましょう。

●幹事報告

◎R I 本部より

・ザ・ロータリアン誌

幹事 高橋 厚生



●社会奉仕委員会 委員長 大保木 正博



<卓話> 高山市の森林計画について

●高山市高根支所 次長 村田 重春 様

高山市が進めている森林経営管理制度に沿った森林整備と森林境界調査について

高山市には、約 45,000ha の私有林人工林がありますが、そのうち約 8,000ha が未整備森林です。このうち、4,000ha を重点的に整備しています。境界明確化を実施した地区（地籍調査済みの地区など）を元に、地形条件やその他の要因を点数化し、森林整備を進めています。



昨年度（令和 5 年度）には、次のような実績がありました：

- ・意向調査：645ha
- ・境界明確化：327ha（換算面積）
- ・森林整備（重点市直営）：16.31ha

今年度（令和 6 年度）の見込みは、次の通りです：

- ・意向調査：463ha
- ・境界明確化：84ha（換算面積）
- ・新規事業として、推定地番図作成：537ha

今年度からは、境界明確化の方法を変更しました。これは、より迅速に境界を明確化するための方法として、森林推定地番図作成事業を導入しました。

森林境界明確化方法の変更

これまでの境界明確化事業では、詳細な境界確認が必要でしたが、今後は「森林推定地番図」を用いることにより、森林の所有者特定や意向調査を早期に進めることができます。

この推定地番図作成では、航空レーザー測量、航空写真、立体地図などを活用し、森林の状態に合った境界案を作成します。これにより、地籍調査の工程も短縮され、より迅速に森林整備を進められます。令和 6 年度の推定地番図作成の目標は、537.43ha（750 筆）で、事業費は約 1,100 万円を見込んでいます。また、令和 6 年度をもって、従来の地籍調査に基づく森林境界明確化は終了します。

高山市の未整備森林解消の流れ（重点区域森林整備事業）について

高山市では、災害に強い森林づくりを進めるため、令和 3 年度から「重点区域森林整備事業」をスタ

ートしました。この事業では、自然災害が多発する中で、里山林の危険を解消することが目的です。

整備の流れ

1. 市が森林所有者の意向調査を行い、森林整備の意向がある場合、市内の林業事業体へ情報提供を行います。

2. その後、市内の林業事業体が実際に森林整備を進めます。

また、対象となる森林は以下のような条件を満たします：

- ・10 年以上手入れされていない人工林
- ・土砂災害警戒区域内にある人工林
- ・地元から整備要望がある森林
- ・県の環境保全事業対象外の森林

整備方法としては、伐採や間伐を行い、森林の光条件を改善します。また、住宅や主要道路に近い危険な立木は一体的に処理します。これにより、大雨などの災害による土砂災害のリスクが減少し、市民の安全も守られます。成果として R3～ これまでに 235ha の市による整備を実施しております。また、森林所有者と森林整備に関する協定を結んだ森林は、R5 416ha、ありそのうち 350ha 程を市内林業事業体へ所有者情報を提供し、林業事業体の受入が無かった森林 67ha は、市が直営で整備する予定です。（参考：R6 463ha）

森林作業道の維持修繕事業

作業道は、森林整備や水源管理、散策などで多目的に利用されるため、適切な維持管理が重要です。しかし、近年の豪雨災害を受け、作業道の維持修繕が進まない場合が多く、これに対して市が支援を行っています。

事業の効果

・地元の建設業者による修繕で、災害に強い作業道を整備

・町内会などが主体的に作業道を管理するように支援

・森林の多面的な機能（環境保全、水源管理など）を発揮できるようになる

令和 2 年の豪雨災害をきっかけに始まったこの事業は、今後も継続され、地域住民の安全と森林の持続的な利用を支えています。

以上が、高山市が進める森林境界調査および森林整備の概要です。

これらの取り組みによって、地域の森林がより安全で持続可能なものとなり、市民の生活にも貢献しています。

<4 月のお祝い>

<会員誕生日>

松之木 映一	S 2 5 年	4 月 7 日
釼田 廣喜	S 2 4 年	4 月 1 8 日
大原 誠	S 3 0 年	4 月 1 8 日
直井 宏文	S 5 1 年	4 月 2 3 日
鶯塚 英雄	S 2 9 年	4 月 2 6 日

<夫人誕生日>

なし

<結婚記念日>

二木 公太郎	H 2 6 年	4 月 3 日
下田 徳彦	H 1 1 年	4 月 4 日
清水 幸平	S 5 6 年	4 月 5 日
岩本 正樹	S 6 1 年	4 月 6 日
中田 学	H 4 年	4 月 1 1 日
西 美紀	S 6 0 年	4 月 2 8 日

<ニコニコ BOX>

高山市高根支所 次長 村田重春様のご来訪を歓迎致します。本日は卓話をよろしくお願い致します。
役員理事一同

高山市高根支所 次長 村田重春様、本日は年度初めのお忙しい中お越し頂きありがとうございます。卓話をよろしくお願い致します。

大保木 正博

先月は私と私の家内の誕生日祝いを頂きありがとうございました。我が家は暖かい家庭なので夫婦とも3月生まれです。ありがとうございました。
久々野 国良

本日、誕生日で後期高齢者の仲間入りをしました。自動車運転免許証も無事更新されホッとしています。少し老体になってきましたが何とか頑張って良い人生になればと思います。これからもよろしくお願いします。 松之木 映一

高山はインバウンドであふれていますが、歯科にも急患でみえる時があります。会話はスマホでほとんど通じますが、わがままな要求も多いです。
鶯塚 英雄

今週末12日(土)私のシングルコンペを開催させていただきます。色々なプレッシャーに押しつぶされそうですが、島さんをはじめ発起人の方々に支えられようやくここまで来ました。ありがとうございます。どうかどうか晴れます様に。

今井 哲也